

# 自分の中に 趣味を持って！2

趣味と仕事には繋がりがあった！！

「趣味を広める」ことによって得るビジネススキル

マナビート赤面教室



中村 雄介

Manabeat

電子書籍化シリーズ

第10弾

## はじめに

---

「その好むところ見て、  
以（もつ）てその人を知るべし」

皆さまはじめまして。  
私は中村雄介（なかむらゆうすけ）と申します。  
上記のフレーズは  
中国の明代の儒学者  
「王陽明（おうようめい）」の言葉です。  
意味は...  
「その人がどんなものを好むかを見て  
その人となりを判断しなさい」  
ということです。

遅ればせながら自己紹介させていただきます。  
私は中村雄介と申します。  
かれこれ15年ほど「教育」の仕事に関わらせて頂いております。  
2011年の9月に独立し  
株式会社マナビートという小さな会社を経営しております。  
<http://www.manabeat.jp/>  
社会人向けの人財教育コンテンツの提供とオンラインストアの運営によって  
「判断の軸」を育てる方法をアドバイスさせて頂きながら  
ともに皆さまと成長できることに  
日々喜びを感じながら仕事をさせて頂いております。

これから始める  
「マナビート赤面教室」  
は「趣味」をキーワードにした  
プレゼンテーションを参加者同士で行うことで  
自然とビジネススキルの中でも重要な  
「プレゼンスキル」  
を磨くことを目的とした研修になります。  
前回に引き続き第2弾となっており  
その講義の一部を紹介させて頂くものになります。  
この度は  
その中でも貴重な

情報の「収集力」と「分析力」について紹介させて頂き  
皆さまのプレゼンスキル向上のヒントに役立てて頂ければ  
これ以上の幸せはありません。

それでは

どうぞ最後まで楽しんで頂けると幸いです。

【収録内容】

1. 情報には積極的に接しよう！
2. 情報環境の変化
3. 情報収集のリスク
4. ダムの法則
5. 情報収集は手段
6. 情報を捨てること
7. 情報の鮮度
8. 情報を加工する
9. イイネ！プラス
10. 情報は料理？！
11. まとめ

情報には積極的に接しよう！

---

ヒトは、知らない情報に初めて触れたとき、  
ついつい構えてしまい、否定的にとらえがちです。

今まで経験したことがないことだから、  
どうすればいいのかわからない。  
という不安がそうさせます。

しかしそれでは新たなインプットはできません。  
仕事上では新たなアイデアの創造は期待できませんし  
また、人生においても、新たに出会う機会や、  
楽しみを逃してしまいます。

ですからみなさん、  
初めての情報にも臆せず、積極的に触れてください！  
知ってしまったから、誰かに狙われる。  
なんてことはありませんから（笑）。

## 情報環境の変化

---

今の世の中には情報があふれています。  
一昔前まで情報は、新聞雑誌、ラジオ、テレビなど  
大手メディアから発信されるものがすべてでした。

しかし、2000年代に入ってから  
情報の量と質がガラリとかわりました。

情報インフラの整備に伴うインターネットの普及により  
ヒトは誰でも簡単に情報を収集、発信することが  
できるようになりました。

また、時を同じくして携帯電話も普及し、さらに近年では  
スマートフォンやタブレット端末も急速に普及しており  
どこにいても情報を取り出し、また発信できる環境となりました。  
この情報環境の変化は、みなさんも感じていることかと思えます。

## 情報収集のリスク

---

みなさんは、情報の収集にどのようなツールをお使いですか？  
HPやブログでの情報収集はもはや定番化していますし、  
facebookやgoogle+などのSNSで  
情報を共有している方も多いですね。  
ツイッターで積極的に収集と発信をされている方も多く見かけます。

このように、多くの情報収集ツールが身近にあり、  
人は誰でも「お手軽に」情報を扱っています。

しかし、「お手軽」だからこそリスクを含んでいることを決して忘れないでください。

取り出した情報の信憑性に気を付ける。  
発信の際はプライバシー問題に配慮する、  
など、  
情報の収集、発信にはリスクと責任を背負わなければならないのです。

## ダム之法則

---

情報は、雨と同じです。

雨は降ってほしい時に降ってはくれません。

降ったとしても、降って欲しい場所だけに

降ってくれるとは限りません。

情報も同じで、たくさんの情報がある中で、

ピンポイントで欲しいタイミングで欲しい量だけ

そんな都合よく情報を見つけることは、非常に困難です。

だから、人はダムを作って水を溜め、

水道を整備して、蛇口をひねれば水が出るようにしました。

そのように情報も、集まるように自ら発信して

集約するダムを作り、その中から自分で有益だと思える情報を

簡単に取り出さなければいけません。



## 情報収集は手段

---

情報収集として、RSS（googleリーダーなど）  
を利用されている方も多いと思います。

更新された情報がチェックできるため、  
自分で探しに行く手間が省けて大変便利ですよね。  
この機能を利用することによって、今話題になっていることや  
気になる商品についての最新の情報をお手軽に入手することができます。

しかし情報と接する時は、次の3つのポイントに気を付けてください。

まず初めに、気を付けていただきたいことは  
『情報収集は手段であり、目的ではない』  
ということです。

特にインターネットなどで情報収集を行っている  
膨大な量の情報を収集することができますね。

しかし、たくさん情報がありすぎて整理することができず、  
収集できたことで満足してしまいがちです。

情報の収集は、今やどのような方法でも可能です。  
情報の数は多いに越したことはありませんが、  
多すぎると、本当に必要な情報が埋もれてしまい  
結局見逃してしまうことにもなりかねません。

『自分が本当に必要としている情報はなんだろう』  
という根本は常に押さえておいてください。

## 情報を捨てること

---

情報と接する時の2つ目のポイントは、捨てることです。

『情報は自分で取りに行く時代』とよく言われます。  
「知らなかった」はもう通用しない、  
そんな時代となりました。  
でも、「知っている」ことは「優れている」ことではありません。  
『知っているだけでは、知らないことと同じこと』  
なのです。

それよりも大事なことは、  
『入手した情報をいかに捨てるか。』  
ということです。

『でも、いつか使うかも……。』  
と捨てる、  
あるいはメールマガジンなどを解除することは難しいものです。

そんな時は、自分に問いかけてみてください。  
『この情報を入手した目的はなんだっけ？』と。

そして、情報自体は無料だけれども、  
それに時間と労力、  
つまりコストをかけていることをもう一度思い出しましょう。

## 情報の鮮度

---

昨日新しかった情報が、今日も通用するとは限りません。  
情報にも『鮮度』があります。  
結局使わなかった昨日の情報は、もう鮮度が落ちてしまって  
二度と使うことがないことが多いものです。

過去の自分が必要だと思ってストックしたその情報は  
今の自分は必要だとは思っていない。  
では、未来の自分はその情報をどう思うだろう？

過去取得した、または今取得しようとしている情報を  
未来に、どのようにして活かそうとしているのか。  
しっかりと見据えることも必要です。

## 情報を加工する

---

情報と接する時の最後、  
3つ目のポイントは、  
その情報の加工方法とアウトプットする、  
ということです。

書籍やインターネットからスリムな情報は集まりました。  
しかしそれは、活きた情報ではありません。

集めた情報は人の考え方でフィルタリングされることで  
はじめて洗練された活きた情報となります。  
ご自身で吟味、加工することを必ず忘れないでください。

その加工法の最適なものは、  
ずばり「人に話す」ということです。

赤面教室（1stSTEP）でお伝えしていることで、  
プレゼンの準備の際には、周囲の協力を得て、  
チームとして準備することが大事です。  
ということがあります。

周囲の仲間に、自分の持っている情報について  
意見を求めましょう。  
そうすることによって、情報は頭の中で整理されます。

皆さんも、  
「最初は考えがまとまっていなかったけど、話すうちに整理がついて、  
今まで気づいていなかったこと見えてきた」  
という経験が、少なからずあるかと思います。  
「人に教える」ためには、より理解を深めないといけませんし、  
インプットした情報は、アウトプットすること、  
出す（捨てる）ことにより整理されます。  
最高の情報とは、考えていく過程で記憶に残ったものなのです。

外部からの情報収集も大事ですが、  
内側での情報整理はもっと大事。  
良質の情報は、人が行動したことによってのみ得られるのです。

## イイネ！プラス

---

人に意見を求めるときのコツを一つお教えします。  
それは「イイネ、プラス・・・」で聞く、  
ということです。

相手の意見については、それがどんな意見であっても  
「それイイネ」と、いったん受け入れます。

そうすることにより、今まで気がついていなかったことに  
気づくことができますし、新たなアイデアも一つ増えます。

どんなことであれ、一回経験する（受け入れる）  
ことによって選択肢が増えますし、  
その経験が、皆さんそれぞれがお持ちのフィルターを  
どんどん良質なものとしていきます。

最高の情報はインターネットの優良サイトにあるわけではありません。

これまでお話しをした、3つのポイント、  
『情報収集は手段』ということ、『捨てる整理』、そして  
『加工とアウトプット』することによって、最高の情報は  
自分の経験に基づいて、身体の中に蓄積されていく。  
ということを、忘れないでください。

## 情報は料理？！

---

ここまで、情報の収集の本質は、考えることにある。  
ということをお話しさせていただきました。

次は、集めた情報を自分のモノとして  
発信するための方法をお話しします。

せっかく仕入れて、作り上げた「最高の情報」。  
でもそれは誰かに伝えないと、  
または仕事に活かせないと意味がありません。  
ここでは、情報の整理を「料理」に例えます。

仕入れた大量の素材は、先ほどの「捨てる整理」で  
下ごしらえは完了しました。  
次は、どのような調理法で出すか、を考えます。

本当に新鮮なものは、「刺身」としてすぐに出せます。  
素材のおいしさだけで十分勝負できる場合です。  
しかし、それだけでは、ツウな方にはわかって、  
みんなに理解してもらえないわけではありません。

最高の素材を用意しているので、  
相手の好みにあった味付けを試行錯誤しましょう

ランチに、学生用のパワーランチや  
レディースランチ、お子様ランチがあるように、  
情報も、相手に応じて内容を工夫しましょう。

最初はどのような組み合わせがいいのか迷うかもしれません。  
しかし、調理の味付けを失敗しながら工夫し  
何度も何度もトライするうちに料理のウデが上がるように  
情報もその迷い、組み合わせをいろいろと考える過程で  
その情報の本質をもっと深く鋭く理解でき、  
使える知識となっていくしますので、安心してください。

最後は、どのようにふるまうか。

相手が仲間内だから、今日は居酒屋で単品料理にしよう。  
とか、今日は大切な相手とのデートだから、  
ドレスアップしてコース料理を楽しもう。  
というように、情報の提供の仕方も、その状況に応じて  
変えなければ、相手には共感をもってもらえません。

情報を受け取る相手の気持ちになって  
出すタイミングを考えることによって自分の理解も深まり、  
再インプットにもつながります。

作ることのみではなく、  
出すことも最初から考えて整理しましょう。

情報も料理も共通して言えることですが、  
最終的な目的は『人に伝えること』です。

『分析することは、理解すること』ですので、  
自分の中にしっかりと『軸』をもって、  
最高の情報を作り上げましょう。

## まとめ

---

情報の整理をし、自分で加工することにより  
最強のビジネススキルを手にすることができます。

ある人は、『人は労働時間の70%を、  
何かを探している時間で費やしている。』  
とも言われます。

情報収集から分析力までを磨くことによって、  
仕事に対する労力を減らすことができ、  
自分の時間、新たな趣味を持つことができます。

そうすると、たくさんの新たなインプットに  
出会う機会が増え、さらなるモチベーションアップ、  
そして明るい未来が待っています。

情報の整理がもたらす人生への効果というのは  
これは非常に大きいものです。

ですから皆さん、『どのように選択するか』を自分のモノにして、  
『あなたによって洗練された、上質の情報』を仕事に、趣味に活かしてください。

そして、多くの友人と出会い、多くの趣味を共有して、  
豊かな人生を送りましょう！



## おわりに

---

最後までお読みくださりましてありがとうございます。

「はじめに」でも書かせて頂きました通り  
この度のこちらの電子書籍は  
「マナビート赤面教室」として  
私が社会人の皆さまに行っている研修の一部をまとめさせて頂いたものになります。

「マナビート赤面教室」の「赤面」って  
ちょっと変わったネーミングだなと思われたかもしれませんが  
こちらには意味がありまして  
研修参加者の皆さまが  
人前で趣味を発表する  
その「恥ずかしさ」からくる「赤面」と  
その趣味を伝えたいという「熱い想い」  
その熱気からくる「赤面」  
の2つの意味があります。

コミュニケーションは数ある生物の中でも  
人間だけに与えられたものですね。  
人類が誕生してから  
いったいどれだけのコミュニケーションが生まれたのでしょうか？  
そしてこれからもコミュニケーションがなくなることはありません。

「もっとうまく伝えたい」  
「もっと知ってもらいたい」  
「もっと仲間を増やしたい」

これらがうまくいくと人間関係が築かれますが  
うまくいかないと「悩み」につながる...。  
生きる上では欠かせないこの「コミュニケーション」。  
ぜひ思い通りに使っていきたいものですね。

こちらの電子書籍の内容が  
皆さまのこれからの  
「生き方の指針」

に少しでもお役に立てるのでしたら

これ以上の幸せはありません。

最後までお読みくださいますと本当に

本当にありがとうございます。

## 筆者プロフィール

---

中村 雄介（なかむら ゆうすけ）

株式会社マナビート

<http://www.manabeat.jp/>

代表取締役 兼 人事総務コンサルタント

昭和48年9月3日生まれ

長崎県長崎市出身

長崎大学経済学部卒

大学卒業後に福岡にて金融業界に勤めるも肌が合わず退職。

心機一転、「教育業界」を目指して

小中学生を対象とした個別塾業界に転職。

二教室を担当する指導者兼教室運営責任者、

生徒募集を専門とした企画開発部員を経て

幼児から小学生を対象としたスポーツスクール運営企業の創業メンバーとして独立。

まったくゼロから管理部門を立ち上げ、

スクール運営を裏から支える「後方支援」に特化した管理システムを構築する。

トップマネジメントの一員として

福岡にて社員数10名からスタートし全国17拠点・海外2拠点

会員数3万名・社員数400名規模までの成長を支える活動を行う。

創業10年を区切りとして2011年に独立。

企業と医療機関のための管理部門の専門家（エキスパート）

株式会社マナビートの代表取締役兼人事総務コンサルタントとして

管理部門（主に人事総務部門）に特化して

「面接」のやり方や「いい人財」を見分ける方法のアドバイスを専門に行い

企業と医療機関の管理部門スタッフの成長に貢献。

致知出版社公認「応援ブロガー」22名のひとり

致知出版社で現在唯一の「致知仲間」認定

パワー&エレガンス魅力学講座修了生

魅力学エグゼクティブ講座修了生

感動魅力学受講生

インターナショナル魅力学協会員